

平成29年度 ひょうご防災リーダー講座受講者募集

～地域防災の担い手となるリーダーをめざしましょう!～

あの阪神・淡路大震災から22年が経過しました。震災の経験と教訓の風化が懸念されるとともに、過去の経験と教訓がその後の災害で生かされていないこと、受援力などの課題が昨年の熊本地震で浮き彫りとなりました。

今、私たちは30年以内に70%の確率で発生するとされる南海トラフの巨大地震に直面しているほか、激甚な直下型地震にもいつどこで襲われるかわかりません。また、近年の台風や前線による風水害、土砂災害も局地化、集中化、激甚化しており、豪雨災害も今後どこでも起こりうると言われています。

さらに、福島第一原発事故に象徴される様に津波が引き金となり、災害が複合化することも想定されます。

我々は、どのような災害時にも的確に行動できるよう、地域防災力を向上させることが喫緊の課題となっています。

このような観点から、地域防災の担い手である自主防災組織等のリーダーの育成を目的とした「平成29年度ひょうご防災リーダー講座」を10月上旬から約半年間にわたり、計12日間開講する予定です。

本年度の講座の特徴としては、「避難」という言葉をキーワードに据えて、日本の防災分野の一流講師陣による講義に加え、特に南海トラフ巨大地震など大規模災害に備えるため、自主防災組織等の地域コミュニティが主体となって直ぐにでも取り組むことが出来る実践的なプログラムとなっております。避難所運営訓練、災害対策本部図上演習、地区防災計画づくり、地図等（GIS含む）を活用した実践的な防災ワークショップ、地域防災訓練への参加等バラエティーに富んだ講座を開講する予定です。

- 日 程** 平成29年10月～平成30年3月のうち 12日間
- 会 場** 兵庫県広域防災センター
- 受講対象** 現在、自主防災組織で活躍されている方や、今後、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとする方で、兵庫県内在住、在勤、在学の方
- 募集人員** 120名（申込者が定員を超えた場合は、活動歴、居住地等を考慮して決定します。）
※過去に防災リーダー講座を修了し、「ひょうご防災リーダー」の称号が授与された方は受講することができません。
- 申込期間** 平成29年8月1日（火）～9月28日（木）必着
- 受講料** 無 料（教材等の一部実費負担あり）
- 修了要件** ○右頁、下段を参照願います。
- 講座修了後は…** 知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与され、地域防災の担い手として活動していただきます。さらに、日本防災士機構が認定する防災士の受験資格が付与されます。また、居住地（又は勤務地）の県民局、市町に修了者名簿を送付し、活動機会を提供します。

申込方法 インターネットもしくは郵送でお申し込み下さい。裏面QRコードもしくは、広域防災センターホームページ (<http://www.fire-ac-hyogo.jp/>) の「平成29年度ひょうご防災リーダー講座参加申込」ページからお申し込み下さい。
※郵送の場合は、別紙受講申込書に必要事項を記入の上、お申し込み下さい。（郵送先は裏面参照）



平成29年度「ひょうご防災リーダー講座」カリキュラム(案)

※講師等の都合により講義日、講義内容を変更する場合があります。

	第1時限 (10時15分～11時35分)	第2時限 (12時30分～13時50分)	第3時限 (14時10分～15時30分)
1回目 10月7日 (土)	開講式 【国難と地域の災害に備える】 【関西大学社会安全研究センター長・特別任命教授 人と防災未来センター長 河田 恵昭 氏】	オリエンテーション 【自己紹介・役割分担等】	地域防災とその取組事例について 【一般財団法人消防科学総合センター 研究開発部長 黒田 洋司 氏】
2回目 10月14日 (土)	風水害の発生メカニズムとその対応 【神戸地方気象台防災気象官】	防災体験学習 放水体験・簡易救出器具取扱体験・ロープ結索・煙避難体験・地震体験・備蓄倉庫見学 【広域防災センター職員】	
3回目 10月28日 (土)	今後の原子力災害対策 【京都大学原子炉実験所教授 中島 健 氏】	地図から学ぶ地域の防災対策 【兵庫県立大学准教授 浦川 豪 氏】	災害の社会的影響（過去の災害事例に学ぶ） 【兵庫県立大学環境人間学部准教授 木村 玲欧 氏】
4回目 11月4日 (土)	地区防災計画づくりにタイムラインを活かす 【内閣府大臣官房付福岡大学法学部准教授 西澤 雅道 氏】	行政の災害対応と教訓 【関西国際大学教授 村田 昌彦 氏】	近年の豪雨による水害・土砂災害発生～メカニズムの解明と犠牲者ゼロを目指して～ 【神戸大学名誉教授 沖村 孝 氏】
5回目 11月11日 (土)	過去の土砂災害・風水害時の行政・自主防災組織の対応について 【一般財団法人消防科学総合センター 研究開発部 主任研究員 小松 幸夫 氏】	避難と避難所運営ワークショップ（講義及び演習） 【兵庫県広域防災センター 防災教育専門員+ 一般財団法人消防科学総合センター研究開発部 主任研究員 小松 幸夫 氏】	
6回目 12月2日 (土)	災害情報が命を救う～防災情報の今後のあり方～ 【NHK解説主幹 山崎 登 氏】	南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地震（山崎断層帯地震）について 【関西大学社会安全学部准教授 奥村 与志弘 氏】	被災者の生活支援制度・被災者生活・災害時要援護者対策 【関西大学社会安全学部教授 山崎 栄一 氏】
7回目 12月9日 (土)	東日本大震災や熊本地震等過去の復興事例に学ぶ 【兵庫県立大学准教授 澤田 雅浩 氏】	自主防災組織における危機管理とタイムライン 【東京大学生産技術研究所講師 沼田 宗純 氏】	建物の耐震化について 直下型地震と長周期地震動の違いについて 【名古屋大学 減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫 氏】
8回目 1月6日 (土)	超広域大規模災害に備える 【神戸学院大学現代社会学部客員教授 松山 雅洋 氏】	普通救命講習 【三木市消防本部・小野市消防本部・広域防災センター職員】	
9回目 1月13日 (土)	災害ボランティア活動の実践 【ひょうごボランティアプラザ 高橋 守雄 氏】	地域の自主防災組織における災害対策本部図上演習（タイムラインを活用）について	
10回目 2月3日 (土)	被害想定と避難行動について 【東京大学大学院准教授 廣井 悠 氏】	避難行動ワークショップ（EVAG）（風水害版） 【いろいろな人の立場で考えよう、避難行動訓練 EVAG】	
11回目 2月17日 (土)	災害心理学 【兵庫県立大学教授 富永 良喜 氏】	地域防災の実践活動とその課題（講義+パネルディスカッション） 【コーディネーター】地区防災計画学会事務局長 筒井 智士 氏 【パネリスト】 全国の自主防災組織の代表事例発表者 等	
12回目 3月10日 (土)	地域の防災リーダーに期待すること 【神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏】	受講生によるレポート発表 開講式	防災士試験（希望者のみ）

○ 修了要件

- ① 上記カリキュラム(防災士試験を除く。)の内、3分の2以上の出席
- ② 次の2つの自主課題に係るレポートの提出(必須)
 - 地域防災訓練に参加し、その内容及び感想等についてレポートをまとめ提出
※事情により地元の地域防災訓練に参加出来ない場合は、三木市内(青山地区11月26日、緑が丘地区12月10日、自由が丘地区平成30年1月13日等)の地域防災訓練に参加し、所要のレポートを提出
 - 取材及びレポート:
地元の自主防災活動について、地元リーダー、市町防災担当、消防署等への取材を行い、その課題及び対応策等をレポートにまとめて提出
- ③ 普通救命講習修了

